

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公表番号】特表2011-501066(P2011-501066A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-530267(P2010-530267)

【国際特許分類】

F 16 F 15/139 (2006.01)

F 16 F 15/129 (2006.01)

F 16 H 45/02 (2006.01)

【F I】

F 16 F 15/139 C

F 16 F 15/129 C

F 16 H 45/02 Y

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月11日(2011.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

直列ダンパにおいて、直列ダンパが、以下の構成部材：すなわち、

1つのフランジと1つのカバープレートとを備えた第1のダンパを有しており；

第1および第2のカバープレートと1つのフランジとを備えた第2のダンパを有しており、第1のダンパのフランジとカバープレートとが、回動に関して摩擦接続的に係合しており、第2のダンパのフランジが、第1および第2のカバープレートに摩擦係合なしに自由に回動させられるようになっていることを特徴とする、直列ダンパ。

【請求項2】

直列ダンパが、可撓性のエレメントを有しており、該可撓性のエレメントが、第1のダンパのフランジとカバープレートとの摩擦係合を形成するために調整されている、請求項1記載の直列ダンパ。

【請求項3】

可撓性のエレメントが、第1のダンパのカバープレートに摩擦接続的に係合していて、トルクコンバータのタービンハブ内に摩擦接続的に係合するために調整されている、請求項2記載の直列ダンパ。

【請求項4】

可撓性のエレメントが、第1のダンパのフランジに相対回動不能に結合されている、請求項2記載の直列ダンパ。

【請求項5】

第1のダンパのフランジとカバープレートとの間の摩擦接続的な係合が、第1のダンパのねじりの間に形成されるようになっている、請求項3記載の直列ダンパ。

【請求項6】

第1のダンパのカバープレートが、少なくとも1つのスリットを有しており、第1のダンパに対するフランジが、少なくとも1つの延長部を有しており、該延長部が、少なくとも1つのスリット内に少なくとも部分的に配置されており、第1のダンパのカバープレ-

トと、少なくとも 1 つのスリット内の少なくとも 1 つの延長部との間に遊びが存在している、請求項 1 記載の直列ダンパ。

【請求項 7】

第 1 のダンパのフランジが、第 2 のダンパに対する第 2 のカバープレートを有している、請求項 1 記載の直列ダンパ。

【請求項 8】

直列ダンパが、環状のエレメントを有しており、該環状のエレメントが、第 1 のダンパのフランジに相対回動不能に結合されており、可撓性のエレメントが、環状のエレメントを第 1 のダンパのカバープレートに向かって押圧している、請求項 2 記載の直列ダンパ。

【請求項 9】

可撓性のエレメントが、第 1 のダンパのカバープレートに相対回動不能に結合されている、請求項 8 記載の直列ダンパ。

【請求項 10】

第 1 のダンパのフランジが、第 2 のダンパのカバープレートを有している、請求項 8 記載の直列ダンパ。